

第7章 災害廃棄物処理

1 概 説

都市で起こる天災等で発生する災害廃棄物の量は多量である。同時にごみ処理施設が被災することもあると考えられる。いつ起こるか予想もつかない災害に対して、常に備えることが必要である。

川口市では、「川口市地域防災計画」の全面改訂と、環境省の「災害廃棄物対策指針」の策定を受け、「川口市災害廃棄物処理計画」を平成27年3月に改訂した。その後、令和8年3月に「川口市災害廃棄物処理計画」を再度改訂し、内容をさらに充実させた。この計画では、災害に対する事前の体制整備と市民・事業者・行政の連携に基づく災害廃棄物の円滑な処理を推進するための基本方針が示されている。

2 市内災害廃棄物処理実施状況

	一般ごみ(k g)	粗大ごみ(k g)	合 計(k g)
平成23年度	7, 370	21, 980	29, 350
平成24年度	—	1, 700	1, 700
平成25年度	610	1, 190	1, 800
平成26年度	—	110	110
平成27年度	—	—	—
平成28年度	—	—	—
平成29年度	12, 620	—	12, 620
平成30年度	90	2, 850	2, 940
令和元年度	266, 710	66, 610	333, 320
令和2年度	13, 560	3, 310	16, 870
令和3年度	210	5, 090	5, 300
令和4年度	—	—	—
令和5年度	4, 240	2, 480	6, 720
令和6年度	—	20	20
令和7年度	—	—	—